八郷広報

第88号

昭和37年11月15日

発行所　八郷町役場　茨城県新治郡八郷町大字柿岡2009　電話（柿岡）4・104・114・149番

印刷所　飯島印刷所　石岡市寺木町

（写真は東筑波産業道路の竣工式）

東筑波産業道路　風返峠で盛大に竣工式

さきごろできあがった東筑波産業道路の竣工式が、十月十六日、この道路の終点である風返峠で盛大に行なわれました。

この東筑波産業道路は、筑波山東側の中腹、湯袋峠～風返峠間をよこぎって全長三・六キロメートルにおよぶもので、霞ケ浦から大平洋、晴れた日は関東平野から富士山を一望できるという観光道路でもあります。

東筑波開発のもととなるこの道路は、昭和二十九年に湯袋峠から風返峠に向けて広根場林道として二千四百二十四メートルがつくられたのがはじまりで、同三十五年に三百六十メートル三十六年に七百九十六メートルと、ながい歳月をついやして、営林署や町の施工で完成されたものです。

竣工式は、土地提供者など地元関係者や県知事、県議会議員、隣接市町村長など多数の来賓をむかえて、すみきった秋空の下で行なわれました。

納税成績優良町として　輝く三年連続金看板

昭和三十六年度の町の納税成績は普通税九十八・七パーセント、保険税九十七・二パーセントで、県下の町村税優良町村（普通税九十八パーセント、保険税九十六パーセント以上）として、十月一日県町村会長から栄えある納税優良町村の金看板が授与されました。

これで昭和三十四・三十五三十六年度と納税者のみなさんの努力が実って、輝く三カ年連続表彰で金看板が三枚並びました。

この三カ年の納税成績は次のとおりです。

昭和34年度	九五・三%	
昭和35年度	九七・七%	
昭和36年度	九八・七%	

（写真は出納室窓口にかけられた金看板）

小作契約書の書きかえ

11・12月にいっせいに

小作契約書の文書化は、農地調整法にもとづき昭和二十五年に全国いっせいに行なわれて以来、現在までそのままとなって、すでに十年あまりを経過しています。

その間遺産相続により名儀のかわったもの、あらたに小作契約を行なったもの、小作契約を解約したもの、所有権の移転をしたもの、小作契約書を紛失したもの、口約束の小作契約をしているものなどいろいろの問題をのこして紛争の原因ともなっています。

そこでこれらの問題を解消するため契約書を書きかえ、契約の文書化を再び実施することになりました。

県では、農地行政の重点事業の一つとして県下いっせいに小作契約の文書化を実施しています。

町農業委員会でも県と足並をそろえ、十一月より十二月末日までの二カ月間を「小作契約文書化」の期間としてすすめています。

農地法では、小作契約を必ず書面で内容をはっきりさせておかなければならない、という定めがあります。これはお互いに契約書をとりかわすほか、農業委員会へその写しを提出することになっています。

このように、当事者間の権利保護のため、小作契約の文書化を実施するもので、八郷町が小作契約の文書化を必要とする農地は約八千筆、七百ヘクタールが予定されています。

最近は無断貸付けなどが非常に多いようにみうけられ紛争のもととなっています。耕地を貸付け、あるいは借受けをする場合は、必ず農業委員会の許可をとってから貸付けするようにしてください。

特に創設農地（開放農地）を農業委員会の許可なく貸付けをすると農地法に違反し、国が強制買収しますので、たとえ一作でも貸付けする場合は、必ず農業委員会の許可を受けてから貸付けするようにしてください。この「小作契約文書化」の実施にあたっては、まず当事者間の理解と協力がなくてはなし得ません。

お互いの協力で一日もはやく文書化によって正しい契約を行ない、農地の権利をまもりましょう。

やってくる火災シーズン

ことしはすでに四百万円を灰に

秋晴れとともに日増しに寒さが加わり、火の恋しい季節となって本格的な火災のシーズンがやってきます。

ことし、一月から十月末までに町内に発生した火災は十件を数え、損害見積額は四百七万六千円です。これを昨年同期とくらべると件数で一件の増加、損害額についてみると百七十一万九千円もふえています。

これら火災発生のほとんどは十二月～四月の火気の使用の多い季節風がふくときです。

秋の火災予防運動
11月26日～12月2日

この火災期をまえに十一月二十六日～十二月二日までの一週間「秋の火災予防運動」が全国いっせいにくりひろげられます。

最近の火災原因のうち、私たちの日常生活にもっとも関係の深いものをとりあげて、火災予防ということをしんけんに考えてみましょう。

私たちの家庭で使用する暖房器具などは、最近ひじょうに便利な、優秀なものがふえて、文化生活の向上に役立っています。

しかし、これらの文明の利器も、取扱いの方法を誤ったときには、恐ろしい火災の原因となり、猛威をふるう凶器となります。

とくに、その熱源が、石油類、電気などによっているものは、ひじょうに大きな危険をはらんでいます。

これらの取扱いについての注意事項は、じゅうぶんな注意をたえず払っていることにつきますが、次にこれらの注意点をあげてみましょう。

電気器具類の扱いを慎重に

年々火災の発生件数、損害額が増加していることは、生活文化の向上にともなって、いろいろな電気暖房器具などの使用度数が多くなるとともに、その取り扱い方がじゅうぶんでないことが、一つの原因とみられています。

○　電気コンロ、コタツなどは、スイッチ、配線などに注意をはらい、とくにスイッチの切り忘れ、周囲のものとはもちろんですが、消すときもガス漏れなどの過失がないよう確認すること。

以上のほかに、火災発生の原因となる取り灰の不始末にはじゅうぶん注意することです。石炭から、たき火の灰など一定の捨て場所をきめ、不燃材料で囲いをしておいて、就寝前には必ず見まわるような習慣をつけてください。

子どもの火遊び、タバコに注意

火災発生の原因をみてみますと、意外にもマッチ、タバコが一、二位を占めていることです。もとより火災の原因はマッチだということは当然とも思いますが、大部分が子どものろう火であることに注意しなければなりません。

これからの時期には、たき火などが多くなりますが、子どもたちがマッチを使うときはじゅうぶん注意しなければなりません。

次にタバコの吸いがらの不始末も、大きな被害のもとになっています。ふとんの上での喫煙、新聞紙をひろげての喫煙などは非常に危険なわけで、吸いがらの処理には、もう一度自分の周囲を見まわして、危険のないことを確認することです。

風の強い日の火気使用

火災警報（風力、湿度などの関係で、火災発生、拡大の危険度が高い時に、町長が発するもの）が発令されている時には、とくに次のことに注意しましょう。

(1)　屋外で、火遊び、たき火などをしない。

(2)　屋外では、引火性、爆発性のある物品その他、可燃物の付近で、たばこをすわない。

(3)　残り火や取り灰火の粉の始末を十分にする。

(4)　屋内で裸火を使用するときには、窓、出入口などを閉じて使用するようにします。

以上あげたものは、火災予防のうちでも、私たちの周囲におこりがちな事故の防止のために必要な注意事項ですが、これらは日常私たちがやっている当然のことがらばかりです。念には念を入れて、それが火災予防に、第一に必要なことです。

火災の危険から、尊い生命、財産を守るために、最善の努力をしていきたいものです。

1.　石油コンロ、ストーブは必ず不燃性の縁付き台の上で使用すること。

2.　コンロ、ストーブは、広い場所で使用するようにしそのまわりはつねに整頓しておいて、近くに燃えやすいものをおかないこと。また、ふすま、障子、カーテンや天井、棚などからもじゅうぶん離すこと。

3.　補給用の石油類は、このような器具から離れた安全なところに保管する。

4.　万一に備えて、消火器、乾燥砂を用意しておき、非常には、あわてずに使用して消火できるよう練習しておくこと。

5.　使用中の火に注意することです。

危険物の使用は

石油やプロパンガスなど危険物を使用するときは、とくに次のようなことをもう一度確めてみることです。

○　アイロンやコテは、使用中、もえるものの上に放置しないで、不燃性の台の上に必ず置くようにします。

「県民の歌」歌詞きまる

作曲を募集

さきに募集を行なっていた「茨城県民の歌」の歌詞が、このほどきまりました。

四百四十七点の応募のなかから友部町の川上宏昭さんの次のものが入選歌詞となり、引き続いてこの歌詞につける曲の募集を行なっています。

茨城県民の歌

一、空には筑波　白い雲
　野にはみどりをうつす水
　この美しい大地にうまれ
　明るく生きるよろこびが
　あすの希望をまねくのだ
　いばらき　いばらき
　われらの茨城

二、ゆたかなみのり　海の幸
　梅のほまれにかおるくに
　この限りない恵みをうけて
　おおしく励むいとなみが
　あすの郷土をつくるのだ
　いばらき　いばらき
　われらの茨城

三、世紀をひらく　原子の火
　寄せる新潮　鹿島灘
　このあたらしい光をかかげ
　みんなで進む足なみが
　あすの文化をきずくのだ
　いばらき　いばらき
　われらの茨城

「県民の歌」作曲募集要項

▽しめきり　十二月十五日

▽応募手続き
①作品は五線紙にペン書き、住所、氏名、職業、年令を別記して、楽譜に添付してください。②送り先は水戸市北三の丸　茨城県教育庁社会教育課内「茨城県民の歌」募集係。

▽作曲上の注意
①歌詞は入選歌詞を使用してください。②ピアノ伴奏をつけることを原則としますがメロディのみでもよい

▽入選作と賞金
入選作一編と佳作二編に対しては、賞状と賞金を贈ります。賞金は一編について入選作五万円、佳作五千円です。

▽発　表
昭和三十八年二月中旬に新聞などによって発表します

農家の嫁さんの生活実態さぐる

青年学級でまとめた「家政アンケート」

「農村には嫁のきてがない」などと現実に大きな問題がなげかけられています。

この、あまり好ましくない問題を解決の方向へその手がかりをつかもうと青年学級生がのりだしました。

これは、「なぜ農家の嫁がないのだろうか」という問題をほりさげて「どこに原因があるのだろうか」という、なおざりにできない現実を青年の手で探究しようと、町教育委員会の協力でアンケートによって行なったものです。

この調査は、まずアンケートの問題を研究、二十五項目にしぼり、その項目に具体的な課題を設けてはじめられました。

次いで、調査の対象者である農家の嫁さんを各地区ごと年令層にわけて次のように抽出しました。

結婚後五年まで　十五人
結婚後十年まで　十五人
結婚後十五年まで　十人
結婚後二十年まで　十人

このように一地区五十人で柿岡のぞき、七地区で三百五十人を対象として調査が行なわれました。

この調査は調査用紙を用いて、家庭の人によく理解していただいてから配布、すべて無記名の方法がとられました。

これをとりまとめて集計、次の表のような結果がまとまりました。

これによって、みなさんの農家の嫁に対する理解と、今後のご協力を得ることができれば、この調査の目的のいくぶんかは達することができるのです。

この調査にあたった青年学級では、多くのみなさんの協力によって予想以上の成果をあげることができたと感謝しています。

家政アンケート結果表（こたえ下の数字はパーセント）

▽あなたの結婚は
1見合　八九
2恋愛　一一
3しゅうとめ　二

▽一年を通じて朝かまどに火をつけるのは
1私　九六　2夫　二
3しゅうとめ　二

▽あなたの仕事のなかで、いちばんつらいと思っているものは
1夜なべ仕事　四二
2野らに仕事　二三
3はやおき　二二
4家事　八
5こどもの世話　五

▽あなたは朝何時におきますか（九月上旬）
1五時ごろ　四九
2四時ごろ　三九
3五時半ごろ　一〇
4六時ごろ　一
5六時以後　一

▽夜は何時に床につきますか
1九時半ごろ　四〇
2十時ごろ　三一
3九時ごろ　二〇
4十時以後　七
5八時ごろ　二

▽洗濯はいつしますか
1昼休み　四一
2朝食後　二二
3夜仕事が終ってから　一七
4朝食前　一六
5その他休みのとき　四

▽あなたはなぜ農家に嫁ぐ気になりましたか
1親のすすめ　四二
2農家の生活が安定しているから　一八
3農家がすき　一二
4夫への愛情　九
5農家に育ったから　八
6仲人への信頼　五
7農業経営に自信がある　三
8教養がないから　二
9適令期が過ぎたから　一

▽一日の中でほっとするときはいつですか
1床にはいったとき　四八
2夕食後のとき　三二
3夫と二人のとき　七
4しゅうとが留守のとき　六
5外出したとき　四
6野らへ出たとき　二
7ご飯を食べるとき　一

▽あなたは小遣いをどのようなときにもらいますか
1必要なときもらう　五二
2実家に帰るとき　四四
3毎月きまってもらう　三
4全然もらわない　一

▽小遣いがきまっている場合の額は
1一、〇〇〇円以下　四五
2一、〇〇〇円以上　二六
3五〇〇円以下　一四
4三〇〇円以下　八
5二、〇〇〇円以上　七

▽小遣いをもらうときは誰がくれますか
1夫　五〇
2しゅうとめ　三〇
3しゅうと　一五
4その他　五

▽自分の小遣いをつくるくふうをしていますか
1くふうしていない　五三
2くふうしている　四七

▽家計簿をつけていますか
1つけていない　六九
2つけている　三一

▽結婚してから台所を改善しましたか
1改善した　五二
2改善しない　三五
3改善してあった　一三

▽家庭内に争いがおこったとき夫はどちらにつきますか
1中立　六一
2無関心　一四
3しゅうと側　一三
4私　一二

▽夫が外出したとき、あなたのためにみやげを買ってきてくれますか
1ときどきある　六六
2全然ない　二五
3いつもある　九

▽夫婦げんかの原因は主として何ですか
1仕事のこと　二六
2子どものこと　一七
3自分の不注意から　一六
4お互いの態度から　一五
5夫婦の愛情から　一二
6しゅうとのこと　五
7お金のこと　五
8夫の兄弟のこと　二
9夫の浮気から　二

▽よく夫に注意されることは
1料理が下手　二〇
2しゃれけがない　一五
3身廻りの世話をしない　一四
4働きがたりない　一三
5教養がたりない　一三
6実家に帰りすぎる　九
7子どもをよくみない　九
8ふけすぎる　六
9外出が多すぎる　一

▽あなたの夫への注文は
1仕事にもっと協力してほしい　三五
2もっと私を可愛がってほしい　一七
3嫁の立場をかばってほしい　一七
4酒を飲みすぎる　一〇
5外出が多すぎる　八
6浮気をしないこと　七
7お金を出してほしい　五
8浪費のくせがある　一

▽自分が正しいと思っているのにしゅうとめに注意されたら
1一応意見をいってしたがう　二九
2聞きながしておく　二九
3夫に相談してから　二五
4だまってしたがう　一五
5したがわない　二

▽農村生活に対するあなたの不満は
1労働の割に恵まれない　三三
2古い習慣しきたりが多すぎる　二四
3世間の口がうるさい　一四
4子どもの教育ができない　一二
5食生活がかたよっている　六
6身ぎれいに暮せない　五
7すまいが非文化的　三
8屋がない　三

▽あなたに女のお子さんがあったら農家へ嫁にやりますか
1本人しだい　五七
2やりたくない　二七
3相手の人格しだい　八
4やりたい　五
5家庭しだい　三

▽あなたの娘を嫁にやるとしたらどのような家庭にやりたいと思いますか
1農機具が整っているところ　一九
2平地に田畑を持っているところ　一六
3つとめ人のところ　一六
4果樹栽培を取り入れているところ　一三
5耕作反別二ヘクタール以上　一〇
6兼業農家のところ　六
7専業農家のところ　六
8商人のところ　五
9耕作反別一・五ヘクタール以上　三
10畜産をとり入れているところ　一
11耕作反別一ヘクタール以上　一
12養蚕をとり入れているところ　一
13その他　三

▽あなたの息子に嫁をもらうときどのような嫁をえらびますか
1頭がよく丈夫で気持のよい人　四八
2何なくても丈夫で気持のよい人　三〇
3両親がそろっている人　六
4系図がよいところ　四
5高校を卒業した人　四
6大反別を耕作している家から　三
7和洋裁の技術を持つ人　二
8家庭の経済が裕福であるところ　一
9つとめをしたことのある人　一
10嫁入り支度をたくさんもってくる人　一

▽農家に嫁いで幸せだと思うことは
1物をつくるよろこびがある　三一
2自然の中で暮せる　三一
3いつも夫といっしょに働けるから　一七
4健康上よい　八
5家計の苦労がない　七
6食物にことかかないから　六

老人大学で第一回卒業式

「若がえり証」手にニコニコ

五月から町社会福祉協議会がはじめた「老人大学」は、六カ月の研修期間を終えて十月十五日第一期老人大学生二十名が、卒業証書「若がえり証」をもらって無事卒業しました。

この老人大学は、毎月一日と十五日の二回、町のそれぞれ専門の機関から選ばれた講師によって「町の予算」「町の農業振興」から「血圧の話」「野球の話」にいたるまであらゆる新しい知識がわかりやすく講議されるもので、開校そうそう老人の間で評判になりました。

全国でもめずらしい試みであると、テレビやラジオで報道され、数々の話題をのこして晴れの第一回卒業式を迎えました。

卒業式は役場小会議室で二十名の卒業生と、講師陣や関係者があつまって、一人一人関野学長から卒業証書である「若がえり証」と記念品がわたされ、柿岡の吉田庚三郎さんには県知事の表彰状が贈られました。

式の終ったあと、老人大学第一期卒業生たちは、にこにこ顔で、同窓会をひらこうとか、在学時代の話に花をさかせたりしていました。

また、十一月一日には、第二期生二十七人（うち聴講生三人）が入学、学習にはげんでいます。

（写真は「若がえり証」を学長からうける深沢さん）

税務署だより

11月予定納税の注意点

今月は所得税第二期分の納税の月です。納期は十一月三十日までです。

すでに皆様のお手もとに納付書がとどいていることと思いますが、十一月予定納税の注意点などについてお知らせいたします。

(1) 七月に第一期分の予定納税をされた方は、十一月末日までに第一期分と同額を納税して下さい。ただし、七月以降に業況が活発になり、前年より所得が大巾にふえると見込まれる場合は、十一月中に予定納税基準額を修正して、ふえた所得に見合う税金を納税して下さい。

(2) 前年の税額が六千円未満で、予定納税通知書をもらわなかった場合も所得が大巾にふえると見込まれる方は、確定申告で一時に多額の税金を納税することになりますから十一月末日までに予定申告をして納税して下さい。

(3) 本年に入って新しく事業を始められた方で、七月に予定申告をされなかった方は十一月一日の現況により予定申告をして、その税額の半分を納税して下さい。

(4) 納期におくれますと、日歩四銭（ただし督促後十一日以降の場合は日歩四銭）の延滞税がかかり、余分な負担となりますから、納期限の十一月三十日までに納税して下さい。

（土浦税務署）

（文）（芸）

俳句　滝田玉水選

小倉　植木　緑愁

妻の鋏太し稲刈る構えして
新米を借らる裏より
小さく来て
深秋の明日やる仕事
聞いて寝る

瓦谷　増子　海哉

「八郷町教育委員会主催俳句研修会」（於八郷町青年研修所）

毒茸を蹴って驚く紅の艶
白襖冷え〳〵と更け十三夜
「湯袋研修所雨の観月会」
双峰は雨に烟りて后の月

小山田　藤代・竹堂

「日光にて」
秋の朝湖にボートの走る音
「東筑波観光道路竣工式」（風返峠にて）
初紅葉女夫筑波の晴姿

調査員　滝田源三郎

「古墳城趾調査」
秋耕にしつこく挑む調査団
落葉中城趾探れば村人も
分け入れば尾花は招く
古墳まで
縄文土器濃竜膽に
飛びつけば
破片手にしばらく憩う

草紅葉

俚謡　林　嶺月選

柿岡　寿　無限老

（百寿会に出席して）
生きていりゃこそ
楽しい集い
心よろめく八十五
知事の奥さん気さくなお方
老にうれしいかくし芸

中戸　浅野　草雄

（百寿会八郷町連絡総会）
知事を迎へて吾等の集い
町を挙げての百寿会

半田　関　卜堂

進む文化の恵みぞ楽し
集う八郷の老の友

林　白田　正源

義理の吊橋　人情の紅葉
実で流れる岩清水
加波と足尾を合せて抱いて
裾を広げる筑波山

詩　川又　木村　豊山

「祝南中学校誕生」
慎重審議成ル統合一
馳レ思ッ一天万乗ノ邦
朝夕仰見ル雙尖ノ頂
稲荷台上健児ノ窓

〝片野排禍ばやし〟
県無形文化財に指定

〝片野のひょっとこ〟として古くから親しまれている〝排禍ばやし〟がこのほど「茨城県無形文化財」の指定を受けました。

これは、十月十一日に片野排禍ばやし審査会が、八郷公民館で行なわれ、県の審査員のかたがたが審査の結果、このほど無形文化財の指定がきまったものです。

この、片野排禍ばやしの由来は、遠く永録七年（三百九十九年前）にさかのぼり、太田三楽入道賢正が埼玉県岩槻より片野に攻め入り、小田氏治（天庵）を滅して住みついた。

その当時、三楽は氏神として八幡神社をたてたといいつたえられ、その神社建立の奉納の舞いに、この〝排禍ばやし〟を納めたといわれています。

この八幡神社は、その後一度戦禍に逢い、宝永元年に再建されて現在にいたっています。

排禍ばやしは、その当時から〝片野のひょっとこ〟・〝片野のおかめ〟などとよばれて庶民の中に親しまれ、その芸能は、子孫に見よう見まねでつたえられていった。

この芸能は、戦国時代の当時の社会の全容を芸の中に織り入れて表現しているといわれている。

「しし舞い」は、武家の専制的な威厳をあらわし、「ひょっとこおどり」は、当時の農民が重税に、あるいは強制的な重労働にあえいでいる状態を表現、「きつねの舞い」は商工人のこうかつさを、「おかめの舞い」は当時の女性の忍耐と寛容さをあらわしているといいつたえられてきています。

無形文化財の指定をうけたこの「排禍ばやし」は、しし舞い四人、ひょっとこおどり三人、きつねおどり二人、おかめおどり二人、大だいこ一人、小だいこ二人、笛二人、鐘二人の総勢十八人を要し、技術保持者として代表の岡野定重さんら十七人が認定されて保存にあたることになりました。

八郷分校講堂で指定後、初の公開を行なった片野排禍ばやしの〝ひょっとこおどり〟

富田さん（大塚出身）
無事大任はたす
皇太子ご夫妻のフィリピン親善訪問の特別機「宮島号」機長

十一月六日の各新聞には、――皇太子さまは、天皇陛下のご名代として美智子妃とともに秋晴れの五日午後一時十二分、東京　羽田空港発の日航特別機「宮島号」（DC8ジェット機、富田多喜雄機長）で、フィリピンの親善旅行にご出発になりました。――といっせいに報道されました。

この特別機「宮島号」の機長、富田多喜雄さんは当町の出身なのです。

富田さんは豊次郎（故）さんの四男（勘一さんの弟）として大塚に生れ、小学校卒業の後、水中（現水戸一高）に入学、昭和十三年首席で卒業同年四月逓信省に入り、海運操縦委託生として霞ケ浦航空隊に入隊、同十二月成績秀で卒業のとき恩賜時計を授しました。

その後、大日本帝国航空会社に入り、福岡、大阪、台北に勤務して終戦となり、戦後日本航空に入社、現在にいたってこれまでに一万五千時間を飛んだという、日本の航空界でもベテランといわれています。

こんどのマニラ空路は、天皇陛下のご名代である皇太子ご夫妻がおのりになっているだけに、緊張もひとしおだったことでしょう。

六日間の旅行を終えて、日の丸の小旗を機首にかかげた「宮島号」が、十日午後三時四十五分羽田空港にジェットの快音とともに無事ついて、富田さんの大任がはたされました。

（竣工式の自衛隊のみなさん）

ごくろうさんでした自衛隊のみなさん
南中の整地作業おわる

南中学校敷地の整地作業が九月二十四日から自衛隊施設学校四十五名のみなさんによってすすめられていましたが十月二十四日に工事が終り、翌二十五日竣工式が現地で行なわれ、四十五名の隊員は、感謝されながら母校勝田施設学校に帰りました。

東筑波の山々をま近かに仰ぐ位置にある下青柳中原の丘の上に、ブルトーザーのあとも新しいりっぱな学校敷地がつくられました。

自衛隊の作業は、十月二十七日に終る予定でしたが、好天に恵まれたこともあって三日も早く終り、経費の面は燃料費が安くあがったことなどで二十万円も予算より少なくてすんでいます。

丸一カ月の間一日も休まずがんばってくれた自衛隊のみなさん、ほんとうにごくろうさんでした。

全町に予防接種を実施
猛威ふるう流感対策

インフルエンザは流行性感冒といわれ病原体はヴェールスA型とB型で、最近の流行はA型の方が多く広がって、その規模も大きくなっています。

インフルエンザをその患者から感染すると二十四時間～七十二時間の潜伏期の後、多少特色がありますが大体普通風邪と同様の症状で、一般に発熱し、悪感、頭痛、関節痛、下肢痛などがあり、気管支カタル、胃腸障害などを起します。ときには中耳炎、へんとう腺炎、をひきおこす型もあります。

もっとも危険なのは流感肺炎で、これはクループ性肺炎（真性肺炎）のように普通の経過をとらず、胸部の症状が案外少ないと思っているうちに、にわかに重症となることがありますので、流行期には普通の感冒のようでもけっして油断をしてはなりません。

最近サルファ剤や抗性物質によって、肺炎の予防治療が容易にできるようになりましたが、かかったときは早期診断と早期治療がオ一です。

一般にこの病気になった者もせいぜい一年ぐらいの免疫しかもっていません。

予防法としては届出の励行と、患者の隔離をすることが必要ですが実際問題として困難ですので、患者のたんなどによって汚染されたものは消毒をします。

学校伝染病予防法では、主要症状消失後三日を経過するまで登校を禁じています。

流行の場合は学校が閉鎖されますが、その時はすでに感染者はかなりの数になって効果があげられないこともあります。

流行時は人ごみをさけ、病人に接する時はマスクをかけつねにうがいを励行し、のどを清潔にすることです。

インフルエンザは冬に流行する伝染病で、局地的な流行から全国的流行までときどきくりかえしています。

また歴史の上からみると、世界的流行が数十年ごとにあります。

一九一八年から翌年にかけて三回にわたっておそったインフルエンザは、今世紀の最大流行で、全世界患者二億人死亡者一千万人にのぼったといわれます。

これは俗にスペインかぜといわれたものです。

わが国でも数十万人が死亡して、この時（大正七年）の死亡率は、死亡統計始って以来現在に至るまで最高を示しているごとく猛威をふるったものです。

また、今春一月から三月の間に全国的にインフルエンザの大流行がおこり、その間、全国の届出患者数は四十七万人、死亡者は五千人を数えました。

今春以前にも昭和三十二年のアジアかぜは社会生活に大きな影響をおよぼし、これが直接間接の原因となって多数の死亡者を出している状況です。

このような状況から国ではインフルエンザ予防特別対策を実施し、インフルエンザ流行の未然防止をはかることを通達、当町も実施要領により本年は特に奨励していっせいに予防接種を実施し、流行を未然に阻止することになりました。

○予防接種の方法

期日　十一月下旬より十二月上旬

接種量と回数は年令に応じ次の接種量を約一週間おきで二回にわけて皮下に注射する。

（金額はワクチン代実費）

3カ月以上1才未満	0・2cc	30円
1才以上6才未満	0・4cc	60円
6才以上15才未満	0・6cc	90円
16才以上	1・0cc	150円

費用は原則としてワクチン代個人負担で小・中学校保育所の幼児・児童・生徒を含みます。

生後三カ月以上未就学児のうち、保護者が生活保護法による被保護者またはこれに準じるものは公費負担です。

学校関係の該当者数は、乳幼児一千四百十四名、小学生四千四百二名、中学生二千五百八十四名、高校生（三年生進学就職者）百名教職員二百四十六名、計八千七百四十六名です。

古墳・城跡の調査すすむ
出土品は届出を

県社会教育課では、全県下に調査員を委嘱して古墳や城趾の調査を行なっています。

そこで、町教育委員会でも八郷分校西宮教諭を団長として、調査協力員の滝田源三郎さん（柿岡）、高橋包完さん（下青柳）、畦川吉太郎さん（柿岡）、持丸吉之助さん（南中教諭）の各氏が主体で調査を行なっています。

古墳・城趾調査の重要な手がかりとなる出土品を、土木工事や偶然の発堀によって持っているかたがありましたら遺失物として警察に届け出るか、教育委員会へ連絡するかしてください。

その貴重な資料は近く完成する丸山博物館に、氏名をつけて陳列することにもなります。

また、これは小・中学校、高等学校の社会科のだいじな資料です。

調査団では、一般のみなさんの理解と協力を願っています。

鈴木さん（統計調査員）
県統計大会で知事賞うける

十一月五日、昭和三十七年度の「茨城県統計大会」が茨城会館でひらかれ、八郷町からただ一人、統計調査員として戸の内の鈴木栄次郎さんが県知事賞をうけました。

鈴木さんが統計調査員になったのは大正十年の四月一日ですから、何とこの道四十一年というベテランです。

大正時代から今日まで、調査員を続けているのは、この鈴木さんだけで、受賞のよろこびもひとしおです。

まちのわだい
贈られたスクーター

瓦会中学校に見も知らぬお医者さんからりっぱなスクーターが贈られて、先生や生徒たちを喜ばしている。

この贈りものの主は、岩瀬町で耳鼻科のお医者さんをしている小貫信郷さんで、瓦会中学校の先生が「教材用にスクーターがあったら」ということを、ある業者にもらしたことを聞きおよんで思いたったものだという。いただいたスクーターは、購入してから一年たらずの新しいもので、技術家庭科教材用として活用され、大きな役割をはたしています。

さっそく瓦会中学校では、教育委員会に連絡、教育長の感謝状をそえてPTA会長と校長が小貫さん宅を訪問、学校みんなの喜びをつたえました。

柿岡Bが優勝
第一回桜井旗争奪野球大会

八郷球友主催の第一回桜井旗争奪野球大会が十月二十七二十八日両日にわたり、参加七チームで初日一回戦より激しい攻防を展開、決勝戦で柿岡Bが全芦穂を5対3で撃破第一回の優勝をかざった。

全芦穂　6―5　恋瀬
柿岡B　2―1　小幡
山ノ会　7―6　柿岡A
全芦穂　5―2　山ノ会
柿岡B　2―1　林

決勝戦
柿岡B　5―3　全芦穂

◇最高殊勲選手佐藤敏雄（柿岡B）◇最優秀投手稲田昭彦（柿岡B）◇優秀選手高橋毅（全芦穂）◇打撃賞中島仁平（全芦穂）その他一チーム、一人づつに敢斗賞が贈られました。

こんなに本があります

気がるに公民館図書を利用ください

農家ではいま、秋のとり入れも終って農作業も一段落といったところです。

そこで今月は、晩秋の夜長を利用して読書によって思考力を深め明日の力を養なうために、公民館に購入された、たくさんの本を紹介しましょう。

読書は、教養をたかめるために、そして娯楽のためにあるものだといわれています。

「もっとも本を読む人は、もっとも多忙な人である」ということわざがあります。忙しい農事や家事のあい間にちょっとの時間を見出して本を読みましょう。

町には、共同巡回文庫や移動図書館、母親文庫のように定期的に巡回するもののほかに次のような公民館図書を教育委員会で貸出しています。

どうぞ、お気がるにご利用ください。

百寿会で総会ひらく

町老人クラブの百寿（ももじゅ）会では、10月28日八郷分校講堂に会員およそ1,000名があつまって第1回の連合総会をひらいた。この日は、雨もようの肌ざむい日であったが、会場を埋めた老人たちは、老人センターの建設要望などを決議したあと、無形文化財の指定をうけた「片野排渦ばやし」の公開や演芸、あるいは県知事夫人のかくし芸などに1日中たのしんだ。

（写真は演芸をたのしむ老人たち）

公民館図書一覧

▽総　記　△全集▽
現代教養全集19・同21（臼井吉見）

▽哲　学　△宗教、心理学　道徳▽
キリスト教の結婚観（岩村信二）、青年心理学（辰見敏夫外）、金言と人生訓（加藤考一）、人間は十代に作られる（村井清明）、苦しんでいるのはあなただけではない（山本茂実）、愛するということ（エーリッヒ・フロム）成功への階段（岡本威彦）、現代の生き方（岩下信一）、若い目の人生探求（柳田謙十郎）、青年の思想と生き方（寺島文夫）

▽歴　史　△伝記　地誌、紀行、歴史▽
郷土の歴史関東編（樋口清之）日本の精神的風土（飯塚浩二）北里柴三郎（高野六郎）、日本史の人物（松本新八郎）、三役女房―私の夫婦心理学―（波多野勤子）、ピエル・キュリー伝（キューリー）、太閤の手紙（桑田忠親）、加藤高明（近藤操）、ナポレオン（江口清）、人類のともしび（管井準一）、若槻礼次郎・浜口雄幸（青木得三）、アジア・アフリカ紀行（星野芳樹）北極潜行（W・アンダーソン）みちのく聞書（北川逸平）、ぼくのアメリカ日記（山内庄利）、訪中一万五千キロ（田川誠一）、山と高原の旅（黒田初子）、スェーデンに住んで（武田竜夫）、見たこと考えたこと（角田房子）

▽社会科学　△政治、法律　社会、教育、民話▽
中国の眼（玉嶋信義）、政治の内幕（岡田任雄）、近代日本の政治家（岡義武）、暮しと政治（嘉治隆一外）、政治は生きている（清瀬一郎）、婚姻法入門（鍛治良堅・千鶴子）、愛と孤独と（高群逸枝）現代教養全集 第11 日本女性（臼井吉見）、サラリーマンの思想と生活（藤田若雄）、理由なき犯行―殺人犯―（池上努）、差別（東上高志）、部落の人間像（部落問題研究所）、親と教師の谷間（勝田守一編）、叱らないしつけと教育（渡部図南夫）、働く女性の心理（畔上久雄）、勉強好きにする導き方（品川不二郎）、忘れえぬ教師（中野重治、国分一太郎）、近代人の蹂外（F・バッペンハイム）青少年の理解と導き方（山根真住）、生活設計入門（望月衛）、学習のしかた（如潜）結婚一切の心得（海老原秀）日本の民謡（服部知治）、九州人（毎日新聞社）、あたりまえの女たち（モニカ・フィルトン）、われら日本人④その人生（平凡社）、結婚全書（主婦の友社）、常識としてのエチケット（島影盟）、人間の社会Ⅱ（石田英一郎、泉靖一、宮城音弥）、日本海軍特攻編（木村八郎）

▽自然科学
郷土の調査法（中野尊正編）進化論の百年（石井友幸）、トリキチ誕生―私の動物誌―（川田潤）、シラサギの四季（小杉昭光）、ガンの徴候と発見（川島甲子雄）、千万人のカルテ（朝日新聞科学部）心の起こる体の病（池見酉次郎）、ガンの科学（黒川利雄）教養の生理学（大行慶雄、紅林康）、ガンを防ぐ12章（丸谷正蔵）

▽工　学　△工学、工業、家事▽
小住宅建て方の知識（稲垣秀次）、健康な住いの設計集（威知義曜）、自動車の健康診断（伊原一夫）、日曜ペンキ屋（森田久）、調理の化学（横山正実）、料理全書（主婦之友社）、家庭の百科（平凡社）赤ちゃんの病気「ママさん文庫才3」（主婦之友社）、ドレメ式統洋裁（杉野芳子）、新版ドレメ式洋裁（杉野芳子）、郷土料理（多田鉄之助）、中華料理の基礎（主婦之友社）家庭でできる中国料理（似内倶楽部）、日本酒と肴（雄鶏社編）、スエーデン刺（繍久家道子）、ママの手帳③（平井信義）、暮しの食品学（婦人倶楽部）、漬物の漬け方（笠間治三郎）、中国料理教本（似内芳重）、日本料理（土井勝）ネット手芸（泉清香）

▽産　業　△産業、農林水産、商業、交通▽
日本の手工業「西日本めぐり」（大槻徳治）、有利な副業のいろいろ（江角清義）、インテリと農村（松丸志摩三）、田畑輪換のやり方（斉藤光夫）畑作改良講座(1)・(2)（錦織英夫、森秀男）、ムダのない働き方科学（ポーン・ハーディン）、土じょう、肥料学（江川及治）、四季の花造り（野崎信夫）、カキ・クリ（梶浦実）、家庭温室と栽培（柳宗民）、新蔬菜園芸（河野照義）図説切花の特殊栽培（山田富造）、イチゴの増収技術（二宮敬治）、ダリア全書（松尾真平）、庭づくりと工作（小野武雄）、春蘭譜（永野芳夫）小鳥の飼い方（黒田長礼）、単飼養鶏の研究（大成清）、小鳥の飼い方（阿部瑞軒）、林業（最新農業講座21）（山本光）、価格競争に打勝つ道（宇野政雄）、商人の歓びと悩み哀しみ（倉本長治）、国鉄を叱る（長沢規矩也）

▽芸　術　△美術、芸術、運動、遊芸▽
芸術とは何か（北条元一）、カメラ80章（弓削重久）、百人の大音楽家（服部竜太郎）ハイキング歌集100（飯塚書店）チャイコフスキー（園部四郎）前進座中国紀行（宮川雅青）スキー教室（広嶋英雄）、テニスのコツ「スポーツ教室第一」（藤倉五郎）、近代土俵の華栃錦清隆（小島貞二）、ベース・ボール（飛田穂洲）、囲碁必勝法（下田源一郎）新トランプ奇術（平岩白風）

▽語　学
現代女性の手紙文（須藤弥生）文章作法（若宮真三）

▽文　学
世界ノンフェクション全集（筑摩書房）、短歌文学読本・長塚節（佐藤佐太郎）、日本未来派詩集（上林猷夫等編）父萩原朔太郎（萩原葉子）、尾崎一雄集―新選現代日本文学全集第4―（尾崎一雄）自鳴館（中村真一郎）、骨肉の倫理（石川達三）、たばこ娘（源氏鶏太）、忘れ霜（壺井栄）、金閣寺（三島由起夫）生きゆくの記（保坂弘司）、草の実（壺井栄）、おバカさん（遠藤周作）、眠狂四郎無頼控「続30話」（柴田錬三郎）、雑魚の目（越智信平）、鏡子の家第一部・第二部（三島由紀夫）別れの歌（石坂洋次郎）、その愛とその美（白川渥）、野村胡堂集・川口松太郎集・菊地寛全集―（野村胡堂、川口松太郎、菊地寛、久米正雄）、密のあわれ（室生犀星）、はるかな女たち（奥野信太郎）、日本八景（火野葦平）、雨に似ている（菊村到）、崩れ去る大地に（真木桂之助）、諸国狐人譚（戸川幸雄）、山嶽巨人伝（戸川幸雄）、悪魔の寵児（横溝正史）、三界飛脚「前編・後編」（村上元三）、ガラスの塔（千坂正郎）、しぶちん（山崎豊子）、井上友一郎集―新選現代日本文学全集第23―（井上友一郎）、青春の打席（藤沢恒夫）、運命の河（芹沢光治良）眠れないの眠らないの（西村みゆき）、署長日記（伊藤永之介）、零から数えて（堀田善衛）、赤坂の姉妹（由起しげ子）、お嬢さん（三島由起夫）頭の中の歪み（石川達三）、水溜り（丹羽文雄）、BG（美濃坂政子）、離情（円地文子）、告別（芹沢光治良）、めぐり逢うとき（北条誠）、浮巣（津村節子）、心機一転（竹森一男）大阪野郎（椎名竜治）、天に日月なくとも（大林清）、悦ちゃん（獅子文六）、愚妻さん（源氏鶏太）、億万長者（源氏鶏太）、曲った矢（佐野洋）、黒い樹海（松本清張）、愚女の巣（春日彦二）、黒い珊瑚礁（宮崎俊臣）、白い対角線（藤本明男）、推理小説ベスト15（木々高太郎）、濡川髪魔剣（佐々木杜太郎）、日本剣士伝（南条範夫）、左近右近（吉川英治）、大暴れ台風娘（城戸礼）、まんじ影法師（島守俊夫）、江戸花火（山手樹一郎）、南米横断一万キロ（石原慎太郎）、皇帝溥儀（山田清三郎）、町をかついできた子（山本和夫）、女の秘密（円地文子）、猫の墓（夏目俊六）、渇（井上靖）、鞍馬天狗第一巻～第九巻（大仏次郎）野ざらし姫（山手樹一郎）、三島由起夫集、円地文子集、石川達三集、直木三十五集、志賀直哉名作集、尾崎紅葉・泉鏡花集、巣の絵（水上勉）、若き心のさすらい（田宮虎彦）、東京三勇士（宮下幻一郎）、最後の伊賀者（司馬遼太郎）、見知らぬ顔（石原慎太郎）、無惨ト伝流（南条範夫）、祈るひと（田宮虎彦）、可笑けりや笑え（松永安左エ門）、微夜の記録（中山伊知郎）、山・原野牧場（坂本直行）、赤間自白（歳森薫信）忘れえぬ山第一・第三（串田孫一）、古事記・今昔物語（平凡社）、赤い花の咲く墓（程俠等）、この心の矜り（バール・バック）、世界文学全集31・39（ヘミング ウェー）、アラビアンナイトの殺人（ディクスンカー）、二十世紀の英米詩人（安藤一郎）、アンネのおもかげ（シュナーベル）、ツルケ（ツルケ）、ゾラ（エミール・ゾラ）魅せられたる魂（ロマン・ロラン）

私と読書

柴間　杉山はつ

一日の仕事を終えて机に向うとき、自分をしみじみと感じます。

図書館の本を家にいて読める喜び、そして自分のために家中みんなのしあわせのために勉強できるのは、かぎりない嬉しさです。

本をひらけば一日の疲れも忘れて、明日への希望にあふれて生きる喜びにわきたつ毎日です。忙しくてひまがないときほど、心にはりが出て本を読もうというファイトがわいてきます。

百姓である私にとって夜だけが読書できる私の自由な時間であり、私の眼の見える中は続くであろう日課であります。そしてある時は、作品の底を流れる深い思想に感激し、またある時は表現の美しさにひかれて、一字一句を味わいつつ自分の心を、こんなにもひきつける作者に深い尊敬を抱きます。

百姓の生活はつらくひまがない、そして町の人にとりのこされて行くのは悲しいことです。どんなに忙しくて疲れていても、ともかく本を読むという事はうれしく、読まずにいられない私です。

野ら仕事の鍬もつ手をふと休めては、今夜読む本の事に思いをはせるときの気持は、本を愛する者でなければわからない喜びです。私はひまがあるから本を読むのではなく読む為に長い間努力し続けてきました。

若いときは、無批判な溺れ方をして、ただ筋だけを追って小説の主人公と自分の区別がつかなくなるほど熱中したりしましたが、今では読書を通じて自分の生き方を考えたり、また、読んだ作品をすっかり消化吸収するまでいくどでも読み返すようになりました。そして、徹底した緊張感をもった読み方をしたいと常に思っています。

過ぎ去った日の私の心のフイルムに深く映っているのは二十一年前のランプの灯で幼児を抱いて本を読んでいた私です。でもそのわずかな時も家の者へのきがねですぐ灯を消さねばならず、くらやみで本をだいて泣いた夜もありました。

その頃の事です。商人の家に生れた私は、苗取りも出来ず、明日は田植えという夜、子供を背おって土手に行きました。芝草をむしっては、わらで束ねて、苗取りの練習をしてみましたが、上手にしばれません。芝の束が夜露に泣いている様に光っていたのもはっきりと覚えています。その様な夜でも一行でも読まねば眠れないのです。物心ついてから三十幾年、本と共に生き、生きる喜びも、母としての生き方もみんな本に教えられました。百姓の出来ない私が、今では下手ながらも何とか仕事が出来る様になったのは近所の皆様のおかげです。ともすれば、くずれそうになる心をむちうってくれたのでした。

本は私の師であり、友であり、親であります。

今、私が風呂から上るとあの時の幼な児が机の上に本をおき、スタンドに灯をともして、私の読むのを待っていてくれます。昔の事を思うと感無量です。若い日の夢は今こうしてみのりました。

「叩けよ開かれん、求めよしからば与えられん」という教えと、「書は多く人生は短し」の二つの言葉をしっかり心にきざんで、子供にとりのこされない様に今後も勉強して行きたいと思います。

出来ます事ならば、母親文庫はいつまでも続けて頂きたいのです。文庫を通じて皆さんで手をとり合って勉強して見聞を深め、自分の幸にめざめて行きたいと思います。

12月の納税

固定資産税

第3期

25日限り